

園名	あそか保育園
日時	令和6年 11月

1, 活動テーマ

<テーマ>

3歳児・・・「どんな音かな？」・身近な物で様々な音を楽しむ。

<テーマ設定理由>

・様々な楽器に触れたり鳴らす活動をしてきた。楽器の音はきれいだが同じような音しか聴こえてこないように感じ、楽器ではなく身近な物からの音であれば、どのような発見や気づきがあるのかと考えテーマにした。

2, 活動スケジュール

- ・2グループ（1グループ10人程度）に分かれる。
- ・身近な物に触れたり、組み合わせたりして様々な音を楽しむ。

3, 活動のために準備した素材や道具、環境設定



4, 探究活動の実践

<活動内容>

- ・子ども達は興味を持った身近な物に触れながら、ラップの芯や木の小づちを使ってフライパンやカップ、ザルなどを叩いて音を鳴らしていた。
- ・物を叩いて鳴らす子どもがいれば、瓶にラップの芯を入れ、そこにどんぐりを落とす子どももいた。
- ・工夫したり、試したりを繰り返す子どもと遊びが続かない子どもがいた。

<素材や道具に興味を持ち触れたり、試したりする様子>

子どもの声

「せんせいみて。こんなおとしたよ」

「あめのおとみたい」

保育士の声

「雨の音ってどんな音なの？」

子どもの声

「さらさらってきこえるよ」

子どもの声

「どれつかおうかまよっちゃう」

保育士の声

「好きな物使って音を鳴らして

いいよ」



<10分後の活動の様子>

- ・始めは様々な素材や道具をつかって音を鳴らしていたが、発見や気づきがなくなると見立て遊びをして楽しむ姿が見られるようになる。



5, 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

導入はせずに「どんな音がするかな？やってみよう」と話すとそれぞれの素材を持って音を鳴らしていた。フライパンを叩いて鳴らす子どもが多いと予想していたが少なく、材料を組み合わせながら音を感じているようであった。音を探求するよりも子ども達の様子を見てみると、どんぐりをフライパンに入れて混ぜたり、瓶にどんぐりを入れて中にラップの芯を入れるなど見立て遊びをしているように感じた。導入をすることで、もっと音の世界を楽しめたのではないかと思う。